

第25回

'14選抜女子駅伝
北九州大会

- 期 日 / 2014年1月19日 (日)
 - コース / 小倉北区・小倉城歴史の道—
八幡西区・ホテルクラウンパレス北九州
折り返し 32.8km
- 一般の部 5区間 高校の部 6区間



1位でフィニッシュする九電工のアンカー・加藤岬

一般の部

九電工が最終区で実業団の意地 14年ぶり復活優勝

九電工が14年ぶりとなる復活優勝を果たした。1区の宮崎悠香が須磨学園に次ぐ一般トップでタスキをつなぐと、2区でチェビエゴが区間タイ記録の快走。最終5区では加藤岬が実業団の意地をみせ、先を行く高校・立命館宇治を猛追。じりじりと追い上げを図り、残り600mを過ぎたところで立命館宇治のアンカー・酒匂友香をとらえると、カーブを曲がりながら一気に抜き去った。最後は人さし指を掲げて1位を示し、両手を大きく広げてテープを切った。

前年12月の全日本実業団対抗女子駅伝を初制覇したデンソーは、1～4区に入社1、2年目を起用するなど若手中心で臨み、序盤の4位から安定した走りで順位を上げて2位でフィニッシュした。TOTOは1区で上田敏斗美が2位と好発進すると、アンカーの早川英里が順位を一つ上げるなどして3位に入った。3連覇がかかった天満屋は4位に終わった。

藤野圭太・九電工監督「いいチームになってくれました」

高島由香・デンソー5区「九電工に追いつけず悔しかったが、目標タイム（1時間48分以内）を切ってゴールできた。若手が頑張ってくれた」

横山景・TOTO監督「やっと駅伝らしいレースができた。まだ潜在能力はあるので磨いていきたい」

浦川哲夫・天満屋監督「想定していた内容。（経験の浅い選手に）経験を積ませたかった」

高校の部

3区で実業団ごぼう抜き 立命館宇治が圧倒V4

立命館宇治が3区で実業団をごぼう抜きにする圧倒的な強さを見せつけて4年連続7回目の優勝。1区・橋本紗貴が須磨学園の福田有以に4秒差の2位につけ、2区で関紅葉が首位に。圧巻だったのは3区の岩井朝香。一般トップの九電工と43秒差でタスキを受けると、1秒前に出た天満屋を簡単にかわし、14秒差のTOTOにも粘り強く食い下がって残り1km弱で並ぶと、余裕の笑みでラストスパート。九電工も一気に抜き去る力走をみせ、沿道の観衆のどよめきを誘った。

興譲館は1区で8位と出遅れたが、3区・宝田彩香の区間賞などで、じわじわと順位を上げ2位に入った。昨年8位だった西京は3区・浅田美菜と4区・棟久由貴の両1年生が順位を落とさず流れを作ると、タスキを受けたアンカー・花田侑里奈が二つ順位を上げて躍進の3位でフィニッシュした。

岩井朝香・立命館宇治3区「(先行する実業団3チームを)抜ける自信があった。楽しかった」

宝田彩香・興譲館3区「実業団の選手と走れて楽しい」

吉崎康志・西京監督「4位以内にはいけると思ったが、びっくりした。粘り強く走ってくれた」



3区終盤で九電工の竹村理沙(手前)を追い上げる立命館宇治の岩井朝香(左)